

出席：柴田、打野、熊田、藤井、渡邊、七海

欠席：佐藤、麻生 (敬称略)

※構成員は全員出席

1 開会

2 校長あいさつ

3 自己紹介(熊田委員)

4 議題

○令和7年度学校評価報告書(実施結果)について

各グループより今年度のこれまでの取組について説明

<委員からの評価・意見>

① 教育課程・学習指導

研究計画を作成して教科での検討、公開研究授業を実施するなど授業研究を進めた。総合的な探究の時間について、研修会を実施するとともに職員間で情報の共有を図り、重層的なPDCAサイクルを意識した指導計画を作成した。

② 生徒指導・支援

生徒の実情や社会通念の変化と照らし合わせながら、生徒心得や服装規定を改定したことは評価できる。一方で、生徒の主体性を尊重しつつもルールを定めて明確に線引きするという視点も必要である。

皐月祭が生徒主体で運営されている点は評価できる。さらなる内容の充実を図り生徒の満足度を高めてほしい。

③ 進路指導・支援

「進路のしおり」の内容を更新して進路支援に生かしている点は評価できる。キャリアパスポートの整備も順調に進んでいるようなので、これからも生徒に寄り添った進路支援を期待したい。

④ 地域等との協働

今後も地域に根差した活動を継続して行ってほしい。近隣自治会のイベントで部活動の生徒がパフォーマンスを披露してくれて素晴らしかった。小学校との交流も深められ、小学校の児童と高校の生徒の双方が成長できる機会であった。

⑤ 学校管理・学校運営

職員の時間外在校等時間の縮減が難しい中で、防災訓練の所要時間を昨年度の2時間から1時間に短縮できたのは評価できる。県・市・自治会・学校の垣根を越えた防災意識をさらに高めていくべきである。

5 閉会